



# 海外生活 レポート 56

## イタリア共和国



ミラノ博で  
通訳兼司会

いけだ みゆき  
**池田 美幸さん**

鎌倉市出身。明治大学の農学部で学んでいた時は、当時まだ木ばりの床だった南武線に乗って生田まで通っていました。へそ曲がりの私は、海の近くの生まれなのに、スキーが好きで、神奈川県代表としてアルペン種目の国体出場経験3回。今でもスキーを続けています。昔は、山登りをする人を、登ってまた降りてくるなら最初から登らなきゃいいのにと横目で見ていた私が、イタリアに来て登山にはまりました。最高峰登頂は、モンテローザ(4,559m)。



ブレザネッラ山(3,558m)の氷河を登る。  
(前から2番目)

### INFORMATION



イタリア共和国

面積 302,000km<sup>2</sup>  
人口 6,036万8千人  
首都 ローマ  
言語 イタリア語

### まだインターネットが なかった時代に

1986年、まだインターネットがなかった時代にイタリアにやってきました。

こちらで、ソムリエ、公認ワインテイスター、チーズテイスターの資格を取得し、食関係の翻訳、通訳、コーディネーターをしてきました。

### 「エノトリア」ーイタリアはワインの地

その昔、ギリシア人たちはイタリアのことをワインの地「エノトリア」と呼んでいました。ワインのためのブドウ栽培にとっても適している土地として古くから知られていたわけです。カベルネやメルロ、シャルドネと言うような誰でも知っているブドウも、古代ローマ人がヨーロッパ各地を占領するときに、苗木を持って行って、新しい地で植えたのが始まりです。教会のミサにも、ワインは欠かせません。ブドウ栽培は、修道院に託されていました。当時、文字が書けたのは、彼らたち修道士。ブドウ栽培に関わる文献を残してくれたのです。



ワイナリーで通訳。グラスを片手に。

### 子どもの頃からワイン?

今から35年ぐらい前、私がベビーシッターをしていた当時3歳だったアンドレアは、隣のマルコの家によく遊びに行っていました。マルコのうちでは、スライスしたパンにワインをかけて、上から砂糖を振りかけたものが、おやつ。美味しそうに食べるマルコを見て、アンドレアが食べないはずはありません! 毎回、アンドレアのお母さんが「あのおやつは、食べちゃダメ!」って言っても。

イタリア料理と言うとお洒落なイメージですが、もとはと言えばとても貧しい料理でした。鉄分やポリフェノールをたっ



毎年5月に開催されるチーズのコンクール

ぶり含んだワインは、酔うためのものではなく、エネルギー源として食事に欠かせないものだったのです。何年前までは、社員食堂には必ずアルコールが用意してありました。飲酒運転禁止の法律が生まれたのは、2010年です。

### 切っても切れないチーズ

ワインと切っても切り離せないのが、チーズ。イタリアはフランスと並ぶチーズ王国。世界に2,000種類あると言われるチーズのうち、約500種類がイタリアにあると言われています。チーズの原料となるミルクは、フランスは、牛、ヤギ、羊だけですが、イタリアでは水牛のミルクからもチーズを作っていますから、フランスに勝っているんじゃないかと(笑)。そうです、あの有名なモッツァレッラです。イタリアで冷蔵庫の中にチーズが入っていない家なんてありません!



パルミジャーノチーズをおろして焼いて

### イタリア料理教室を始めました!

コロナ禍を機に、イタリア料理教室を始めました。オンラインでイタリアから発信。現在はイタリアと日本を行き来しており、日本滞在中は、リアルでレッスンもしています。一番の得意料理は、パスタマシンを使わない手打ちパスタ! イタリアの現地の話も盛り込んだ楽しいレッスンです。ご都合が合うようでしたらぜひご参加ください。

[https://www.instagram.com/miki.italia\\_style](https://www.instagram.com/miki.italia_style)



サルデーニャ島の貴重な生パスタを手作り

来年から羽田とミラノに直行便が飛ぶ予定です。すでに羽田とローマの直行便があります。ぜひ、自由で陽気な空気を吸いにイタリアへお越しください。

(コーディネーター: 編集ボランティア 内田美加)

交流協会の語学講座  
新任講師を紹介!

「おもてなし英語」  
「英語でディスカッション」

ナンシー・ウメツ先生



INFORMATION



アメリカ合衆国

面積 9,833,517km<sup>2</sup>  
人口 約3億3,500万人  
首都 ワシントンD.C.  
言語 主として英語

My name is Nancy Pierson-Umezu. I began teaching at the Kawasaki International Center just this year, so I would like to introduce myself and tell you about the courses I teach.

I am from the state of Indiana in the United States (near Chicago) and have lived in Japan for more than 31 years. My husband and I met in the US and moved here in 1992. My sons (now all grown up) were born and raised in Tokyo.

At Indiana University, I majored in French. The first time I traveled outside of the US was to Strasbourg, France, where I studied for a year. That experience gave me a life-long interest in travel and living in other countries. Besides France, I have lived in Germany and Israel. My hobbies are reading, music, and learning languages. I love to read mystery books! My favorite authors are P.D. James, Marco Vichi, and of course, Agatha Christie. I also play violin and sing in a choir here in Tokyo. Although my favorite music is classical music, I also enjoy jazz. Nine years ago, I decided to start studying Italian! I still study it twice a week and love not only the language, but also the culture and, of course, the food. I hope to get back to Italy next year.

I am excited about teaching here and look forward to meeting students - new and continuing - in my two classes in October.

私はナンシー・ピアソン=ウメツと申します。今年から川崎市国際交流センターで教えることになりました。自己紹介を兼ねて、私が教えているコースについてお話しします。

私はアメリカのインディアナ州(シカゴ近郊)出身で、日本には31年以上住んでいます。夫とはアメリカで知り合い、1992年に日本に引っ越してきました。息子たち(現在は全員成人)は東京で生まれ育ちました。

インディアナ大学ではフランス語を専攻しました。初めてアメリカ国外を旅行したのはフランスのストラスブルールで、そこで1年間勉強しました。その経験から、旅行や他国での生活に生涯興味を持つようになりました。フランス以外にもドイツとイスラエルに住んだことがあります。趣味は読書、音楽、語学学習。ミステリーを読むのも好きです!好きな作家はP.D.ジェームズ、マルコ・ヴィッキ、そしてもちろんアガサ・クリスティです。ヴァイオリンを弾いたり、東京の合唱団で歌ったりもします。好きな音楽はクラシックですが、ジャズも好きです。9年前、イタリア語の勉強を始めることにしました!今でも週2回、勉強していますが、言葉だけでなく文化も、もちろん食べ物も大好きです。来年はまたイタリアに行きたいと思っています。

ここで教えられることをとても楽しみにしていますし、10月からの2クラスで、新しい生徒さんや継続する生徒さんにお会いできるのを楽しみにしています。

「フランス語入門」

ホワン・カルロス・ケルク先生



INFORMATION



カナダ

面積 9,985,000km<sup>2</sup>  
人口 約3,699万人  
首都 オタワ  
公用語 英語、フランス語

Bonjour et enchanté!

Bonjour à tous, je m'appelle Juan Carlos et je suis très content de commencer à travailler à la KIAN à partir d'avril cette année. J'enseignerai le français et j'espère pouvoir partager mon amour pour la langue française et la civilisation francophone avec vous.

Cette année je serai responsable des cours de français mais il faut dire que je suis naturellement bilingue (français et espagnol) et je peux parler aussi d'autres langues comme l'italien, par exemple. Au cours de ma vie, j'ai habité dans beaucoup d'endroits différents et j'ai connu pas mal de langues et de cultures. Ainsi donc, quand les gens me demandent d'où je suis, c'est une question assez difficile pour moi! Je dirais que je me sens surtout citoyen du monde et que je suis à l'aise avec des gens de toutes les origines.

Depuis 2003 j'habite au Japon et pendant tout ce temps, j'ai enseigné plusieurs langues au public japonais. Jusqu'ici, j'ai pu travailler avec des élèves de tous les âges (de 6 à 93!). Quand je suis arrivé au Japon, je ne parlais pas du tout japonais et cette langue était comme un mystère pour moi. Après un peu de temps et pas mal d'efforts, le japonais est devenu une langue assez naturelle pour moi et j'aimerais partager mes connaissances acquises pendant ma vie ici en apprentissage des langues avec mes élèves. De toute façon, j'espère vous rencontrer bientôt à la KIAN!

こんにちは、はじめまして!

ホワン・カルロスと申します。今年の4月からKIAN(川崎市国際交流協会)で働くことになり、とても嬉しいです。フランス語とフランス語圏の文化に対する私の愛情を皆さんとわかち合えればと思っています。

今年はフランス語のクラスを担当しますが、私はもともとフランス語とスペイン語のバイリンガルで、イタリア語など他の言語も話すことができます。これまでの人生で、いろいろな場所に住み、いろいろな言語や文化を経験してきました。だから、どこ出身かと聞かれるのはかなり難しい質問です!なんといっても、私は自分を地球市民のように感じていて、あらゆる国の人々と気楽に接することができます。

2003年から日本に住んでいますが、その間、日本人にいくつかの言語を教えてきました。これまで、あらゆる年齢の生徒さん(6歳から93歳まで!)と接してきました。日本に来たとき、私は日本語をまったく話せず、言葉は私にとって謎のようなものでした。少しの時間と多くの努力を経て、日本語は私にとってごく自然な言葉になりました。ここでの言語学習生活で得た知識を生徒たちとわかち合いたいと思っています。いずれにせよ、近いうちにKIANでお会いできるのを楽しみにしています!

◎語学講座(後期10月~3月)は8月頃から、ホームページの申込フォーム・往復ハガキで申し込みます。

(日本語訳:川崎市国際交流協会 加藤恵美)